

### 指定管理者制度導入の デメリット把握は？

**議員** 無償が原則の図書館施設で、指定管理者が利益を生み出すには人件費の削減しかありません。導入図書館の事例では、低賃金のために司書の定着が不安定化し、登録者の落ち込み、地域連携の後退、レファレンス件数や対応レベルの低下などの弊害が出ています。



中田初美議員  
(日本共産党)

#### 市 デメリット払拭に努める

経費削減や開館時間延長などサービス向上のメリットも多く見込めます。想定されるデメリットはできるだけ避けられるよう、十分に留意し、指定管理者の候補者選定を行ってまいります。(まちづくり部長)

**他の質問** 三田市図書館全館への指定管理者制度導入

### 上荒川三田線の 歩道整備状況は？

**議員** 亀岡市での通学児童らの人身事故を受け、一日も早い安全対策を要望していますが、その後の状況はどのようになっているのでしょうか。



福田秀章議員  
(盟友会)

#### 市 県の方針を受け積極的にかかわる

当該箇所歩道設置については、北側の山林部分に地図混乱が生じており、進捗が遅れています。県によると昨年度から南側への拡幅について地権者との協議が進められており、早急に県としての方針を決定するとのことでした。市としてもこの方針を決定すれば、即時用地交渉等に積極的にかかわっていきます。(都市整備部長)

**他の質問** 市の人・農地プランの進捗状況、新三田駅周辺の道路整備

### 路上喫煙防止区域に 喫煙場所の設置を

**議員** 近年、禁煙化がすすむ公共交通機関には、喫煙場所があまり設置されていないのが現状です。受動喫煙対策の一方で喫煙者への配慮も必要ではないでしょうか。今回設定されようとしている三田駅、新三田駅周辺の路上喫煙防止区域に、喫煙室の設置をお願いします。



西上俊彦議員  
(真正会)

#### 市 適切な場所に設置します

関係機関の協力を得ながら協議を行う中で、受動喫煙の影響が少なく、かつ利用しやすい喫煙場所を選定してまいります。(市長)

**他の質問** 三田市における入札の現状

**説明** 受動喫煙：たばこの先から出る煙や喫煙者が吐き出した有害物質を多く含む煙を、たばこを吸わない周囲の人が吸入すること。

### 社会人経験枠採用基準の 見直しを

**議員** 平成26年度採用の市職員募集の条件に、民間企業の正社員として5年以上勤務(うち1社は3年以上継続)していた経験が必要とありました。非正規労働者が過去最高を記録し、こうした人々が応募すらできない採用基準は弱者の排除であり、法と厚労省通達に抵触するではないでしょうか。



長谷川美樹議員  
(日本共産党)

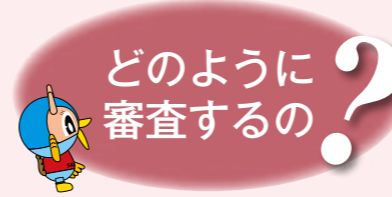
#### 市 来年度以降見直します

社会人経験枠の採用は、市全体の人員構成などを分析しながら、必要な条件を設定し、社会人経験を持つ即戦力となる人材の確保のため、平成23年度から新設しましたが、その趣旨を考えると来年度以降は、できるだけ多くの人が受験できるよう基準を見直します。(市長)

**他の質問** 地域経済活性化と生活ができる賃金の雇用、新成長戦略プランとその実施



# 平成24年度決算 市議会が審査・認定



市の決算は、市長から市議会の審査にゆだねられます。市議会では、議長と監査委員を除く全議員で決算特別委員会を組織し市の予算が適正に使われたかどうかを詳細に審査します。24年度決算については、9月24日～26日に企画総務・福祉文教・まちづくりの各分科会で個別審査を、27日の全体会で総括質疑を、30日に全委員で決断を行いました。最終的に決算を認める(認定)か、認めないか(不認定)は10月の臨時議会の議決で決定しました。

## 分科会審査

3つの常任委員会の所管(2～3ページを参照)に準じる各分科会ごとに、歳入・歳出の全決算項目について審査

### 企画総務分科会

- 市税全体の収納率は年々向上しているが、特に換価性の高い債券の差押えなどの収納強化に努めるべき。
- このまま北摂三田ニュータウン施設整備管理基金の取り崩しを続けていくと7～8年後には残額がゼロになることから、基金の適正な管理と計画的な運用に努めるべき。
- 災害時要援護者支援制度について要援護者の把握に漏れがないよう、有効と思われる関係機関共有方式と同意方式の組み合わせの取組みについて検討すべき。

### 福祉文教分科会

- 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業について、丸洗いの利用者は3年間ゼロとなっているため、効率的な見直しを図るべき。
- 通学路の安全対策について、昨年小学校校区において実施し、81か所の危険箇所が挙げられたが、関係機関と連携を図りながら安全確保万全を期すべき。
- IT教育には専門的な知識が欠かせないことから、より効果的な授業を推進していくためにも、教員のスキルアップ研修の充実にも努めるべき。

### まちづくり分科会

- 市民センターの使用料の納付・還付方法及び予約とキャンセルの統合化が早期に実施できるよう努めるべき。また、今後指定管理者制度を導入する施設に設置している自動販売機の売り上げ収入は、市の収入になるよう検討すべき。
- 市道の植栽の根上がりで歩道ブロックの損傷等が進行し、自転車の走行や歩行に危険な状態となっているため、補修対策に万全を期すよう努めるべき。
- 駐車場管理運営費の収支不足分は一般会計からの借入金で補充しているが、償還金を含め長期的展望にたった会計運営に努めるべき。

## 全体会(総括質疑)

委員が属する7つの会派別に、全ての決算に関して質疑・要望を行い答弁を求める

各分科会審査のほかに、総括質疑では「人件費にかかる職員のラスパイレス指数」の改善、また、昨年4月にスタートした「地域担当制」の充実、そして「高齢者外出支援」や「事業系ごみ減量化」の充実改善に向けて委員から出された意見に対し、いずれも前向きに検討していく、との市当局からの答弁(回答)がありました。

全体会(総括質疑)の内容は、すべて動画配信サービス「USTREAM(ユーストリーム)」でご覧いただけます。

市ホームページトップ左中段 **三田市議会** → お知らせ → 「決算特別委員会」の欄に USTREAM(ユーストリーム)を視聴できるページへのリンクがあります。

### × 反対討論

- 市は開発公社に事業目的のない土地を議会にかけず先行取得させ、解散にあたり市が8億円の税金を投じて買い取るようになった。
- 三田地域振興株式会社からキッピーモール6階フロアを高額で借り、一方で1～5階を安価で貸している。
- 特定地域に限定した解放学級
- 老人医療費助成の対象者縮小や高齢者重度障害者や母子家庭への医療費助成削減の継続
- 平成24年から26年の介護保険料の基準額引き上げで負担増となっている。  
など(日本共産党 長尾明憲)

### ○ 賛成討論

- 「地域担当制」「まちづくり基本条例」「議会基本条例」を同時制定し、新たなまちづくり推進体制の整備
- 第4次総合計画が策定され、成熟都市へ力強い第一歩を踏み出した。
- 市民病院初の単年度黒字計上
- 市土地開発公社は一定の施設整備が完了したため、解散に向け土地を売却したのは英断である。
- 介護保険は、24年度の基金の取りくずしはなく、26年度までの2か年で取りくずす適正な運営計画。現行の保険料も決して高額ではない。  
など(真正市民の会第二 楢田充)

### 委員会での表決

平成24年度決算10件は、決算特別委員会で審査し、議員からの反対意見、賛成意見が表明された後に、表決しました。結果は、一般会計決算など2件が賛成多数で、その他の8件については全員一致で認定されました。

10月臨時議会で採決